

W校 避難訓練実施計画

- 1 目的 不審者侵入時における心構えと対応について全校体制で確認する。
- 2 実施 平成29(2017)年4月29日(土)13時40分～
- 3 方法 緊急非常通報コードを流す時刻は事前に伝えない。

子どもたちへの事前指導は、1校時に必ず実施し、緊急非常通報によって訓練を開始する。

緊急非常通報コード:「Eagle has landed」

- 4 緊急事態の発生及びロックダウン時の対応
 - (1)事件・事故の発見者が、職員室(教頭・教務・補佐)・セキュリティー・カストディアン・保護者会廊下当番等に連絡をとる。(ウォークトーカーを使用)
 - (2)緊急時と判断した場合、教頭(教務・セキュリティー・カストディアン)が「Eagle has landed.」と校内放送を流し、必要に応じて911に連絡する。
 - (3)担任や保護者は、子どもたちを最寄りの教室等に迅速に誘導するとともに担任はウォークトーカーの電源を入れ(1番)指示を聞ける状態にする。緊急な用件の時のみ職員室に連絡する。「(1番)が使用できない場合はバックアップの(3番)を使用する。(犯人が1番を押してしまうと使用不可)
 - (4)担任は迅速に人数の把握を行い、自教室(または逃げ込んだ最寄りの教室)をロックダウン(押してみても開かないか確認する)し、消灯する。
 - (5)入口や窓から離れた場所(外から見えにくい場所)に子どもたちを誘導し、解除の連絡があるまで静かにじっとしているように指示する。
 - (6)解除の連絡は、教務等が安全を確認して各教室へ直接口頭で行う。解除の連絡時に、担任は人数確認と異常の有無を口頭で報告する。
ノック3回後、「教務(補佐)の〇〇です。人数を報告してください。」との指示でドアを閉めたまま人数報告。※実際の緊急避難では警察が全エリアの安全確認を行います。警察だと確認できた時はその指示に従ってください。
一斉放送の「避難指示解除です」を聞くまでは、ドアを開けない。また、授業を再開せず、避難行動を続ける。
上記(6)※担当 1階:塩原補佐、2階:小野教務、3階:吉崎補佐

5 指導しておく内容

校内放送で上記コードの放送が流れたら、次のように行動するように徹底する。

- ◇廊下を通行中の場合は、近くの教室に避難する。
- ◇カフェテリア、またはその周辺にいる時には、カフェテリア内に避難する。
- ◇休み時間や移動中で逃げ込んだ先に子どもたちしかいない場合は、自分たちでロックダウンする。
- ◇避難場所では、外部からの死角になる場所に移動し、身を低くした姿勢でじっとしている。(約10分。途中、外の様子が分からなくても、じっと待たせる。ふざけないように事前指導が必要)移動が必要な場合は、腹ばいになって音をたてずに静かに動く。

6 授業日に担任が留意しておくこと

- ① 毎朝の児童の出欠を必ず確認しておく。
- ② 活動の場における人数把握を常にしておく

7 その他

- ◇ 火災等における避難時の対応と避難経路の確認を別途指導する。(火災を想定した避難訓練は9月に実施予定)
- ◇ 保護者が多数お迎えに来ている時間帯であることを考慮する。(担任の先生方は児童・生徒を守る)保護者会へは主幹が協力の依頼をする。